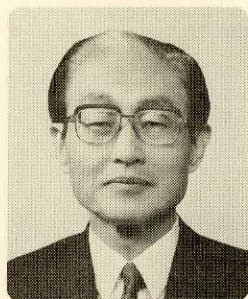


ご挨拶



財団法人 成長科学協会
理事長 鎮目 和夫

当協会では、設立当初（昭和52年）から子どもの身体の成長の促進を主たる目的として事業を行なって参りました。しかし、背が伸びても心の発達にそれに伴わなければならないということから、平成4年協会内に、心の発達研究委員会を設置し研究集会を行なうと共に、一般公開のシンポジウムもこれまで8回行なって参りました。各回とも現代の子どもの心の生態とその発達の問題がテーマでした。

ところで我が国では世界に類をみないスピードで高齢化社会に向けて進行しておりますので、今回は生きもの総てが宿命といえる「加齢現象」に目を向け、各方面でご活躍をしておられる方々と老年をいきいきと生きるために考えてみたいと思います。



心の発達研究委員会
委員長 岡 宏子

心の発達研究委員会は、子どもたちが健やかに、ひととしての可能性を十分に展開して成長することを願って発足、その活動を続けております。公開シンポジウムもこの活動の柱、これまで父親、働く母親、子どもの発達の現状の問題点、食生活、ニューメディアの中で育つこと…と、現代社会に育つ子どもの発達を考えてきました。今回はひとのライフ・スパンの後期、成熟後の生き方の問題に焦点を移して、そこから「心の発達とひとであることの意味」を考えてみたいと思います。

開催にあたって

老年への挑戦 -ひとはいつでも花開く-

ひとは何才から「老年」なのか？の議論はさておき、人間という生きものが、その成熟期を過ぎてからも、どの程度、どのくらい、またどのようにして、生きものの宿命といえる「加齢現象」に挑むことができるのだろうか？こんな問いを投げかけていろいろな角度から考えようというのが、今回のシンポジウムの出発点です。

ひとも生きものである以上、生物としての「加齢現象」の線上を生きていくのは当然でしょう。でも、系統発生的な発達の線上、独特な位置にあるひとは、成熟以後の加齢現象、つまりは老化の問題に対して、どんなふうにして、どの程度、いきいきと活力にみちた生き方が、繰り広げられるのでしょうか。

現代社会に生きる者に、ずしりと重い問題をなげかけている「高齢化社会の問題」を私どもの研究会のテーマ「心の発達」の視点から取り上げ、別項のような提言者の組合せで討論を展開することにしました。

心理学者からは、ひとの生涯発達の視点に立って、「ぼけ」の研究者としてもつとに令名のある脳外科医からは医師の立場から、ユニークな頭の使い方でその能力を開花された数学者、そして「男の冬じたく」の著者で、成熟期を過ぎて衰退の危機を乗り越えて、新たな活動を開花された社会人。こんな取り合せによって繰り広げられる討論が、御参会の方々、そして現代の高齢化社会に生きるすべての人に、「加齢現象に対しても積極的な心と生活態度そして活動を」の誘いとなり、更には、このような生涯発達の中で、ひとの活動を考えることが、子どもの発達と教育への洞察につながることを思います。

心の発達研究委員会 委員長 岡 宏子（大学セミナー・ハウス館長、聖心女子大名誉教授）

委員 東 洋（白百合女子大児童文化学科長、東大名誉教授）

〃 小林 登（甲南女子大学教授、国立小児病院名誉院長）

〃 原ひろ子（お茶の水女子大女性文化研究センター教授）

〃 大野澄子（聖心女子専門学校保育科長、日赤医療センター）

〃 丹羽洋子（育児文化研究所長）

〃 森 玲子（東京都立川高等保育学院）

プログラム

テーマ： 老年への挑戦
— ひとはいつでも花開く —

司会 岡 宏子

13:00~	開会 あいさつ	鎮目 和夫
	プレゼンテーション	岡 宏子
	演者からの提言	東 洋
		秋山 仁
		森 茂
		金子 満雄
	休 憩	
	ディスカッション 質疑応答	
	ま と め	岡 宏子

~16:20

演者紹介

岡 宏子 (おか ひろこ) <司会>

(財)大学セミナー・ハウス館長。聖心女子大学名誉教授。
専門は発達心理学。「心の発達」ととらえる視点の広さと分析の明確さには定評があり、その明快でわかり易い話にファン層が厚い。当研究委員会委員長。

東 洋 (あずま ひろし)

白百合女子大学児童文化学科長。日本発達心理学会会長。
教育心理学、発達心理学会の重鎮。東京大学教授、教育学部長を経て現職。心の発達と教育について、日米比較研究など。

秋山 仁 (あきやま じん)

理学博士。東海大学教育研究所教授。
上智大学大学院数学科卒業後ミシガン大学数学研究員、日本医科大学助教授、東京理科大学教授を経て現職。アメリカ等数十の大学で離散数学の旗手として教壇に立つかたわら、数学的発想力を育ませるため、NHK、民放を通じ多くの数学啓蒙番組を担当。数学に関する専門書多数。

森 茂 (もり しげる)

東京商科大学卒。(社)日本交通協会副会長。(財)多摩市福祉サービス公社副理事長。元国鉄天王寺鉄道管理局長、元京王帝都電鉄専務、元京王百貨店社長・会長を歴任。「男の冬じたく」「七十歳男の出番」等の著者。

金子 満雄 (かねこ みつお)

県西部浜松医療センター副院長。脳外科医師。
神経心理学にも精通されており、自ら遊び人間と自称し、あらゆる趣味をこなす。